



古林工業株式会社  
エコアクション21  
環境経営レポート

(2023.12.1~2024.11.30)

作成日 2025.2.10



エコアクション21

認証番号 000888

古林工業株式会社

1.まえがき	3
2.会社概要	4
3.環境経営方針	5
古林工業株式会社E A 2 1 実施体制図	
実施体制役割 責任・権限	
4.環境経営目標と実績	8
2024年度の目標と実績比較	
2025年度 環境経営目標	
中長期 環境経営目標（2027年度）	
5.主な環境経営活動計画の内容	14
太陽光発電システム	
ベトナム人技能実習生の受入	
廃棄物の分別回収	
E A 2 1 内部監査員養成研修	
秋の行楽	
福祉活動	
献血活動	
厚生クラブ活動	
消防訓練	
消防技術大会	
6.環境経営活動の取組結果と評価 次年度の取組内容	21
7.環境関連法規等への違反、訴訟等の有無	22
8.代表者による全体評価と見直しの結果・指示	23

# 1. まえがき

2024年の世界の平均気温は、産業革命前（1850-1900年の平均気温）より1.55℃上昇し、観測史上初めて年間で1.5℃を超えました。また、世界の陸地の約75%が著しく改変され、海洋の66%が複数の人為的な影響下にあります。

また、世界最大の氷山の一部が大規模崩落したとのニュースが流れ、温暖化のペースは年々早くなっていると推測されます。

私達の身近な所では、年々夏の猛暑日は多く感じられ労働環境の厳しさが増しており、豪雨や台風の巨大化などの異常気象も地球温暖化の影響を受けていると言わざるを得ません。

古林工業においては、2024年度は日々CO<sub>2</sub>の削減、水使用量の削減、廃棄物の排出量削減、化学物質使用量の削減(管理)に取り組み、CO<sub>2</sub>の排出量は1043.5tから949tに減少しました。また、奈良工場では7月に154kWの太陽光発電システムを導入・稼働を実施、7月～12月の奈良工場実績として平均42.5%／月の電力使用量削減と¥52,436／月の売電収入を得る結果となりました。

2025年におきましては2024年度に導入した奈良工場太陽光発電システム(7月)と本社工場に導入した誘引ファンおよび換気装置による防暑対策(10月)の効果を確認、引き続きCO<sub>2</sub>削減を維持・継続します。

私達はエコアクション21(EA21)を取得して20年目となります。「事業活動のあらゆる分野において資源を大切にし、自然及び地域環境との調和と向上を図る」の基本理念のもと、SDGsを意識し、「いのち輝く未来社会のデザイン」実現に向けて事業活動を行なってまいります。



2022年には大阪市環境表彰を受賞

## 2. 会社概要

### (1) 業所名及び代表者

古林工業株式会社

代表取締役 古林 達也

### (2) 所在地

- ・本社・工場 大阪市西成区津守3丁目3番17号  
(本社所属の鶴見橋工場：大阪市西成区津守1丁目6番22号)
- ・奈良工場 奈良県橿原市大垣町11番地の1
- ・関東営業所 千葉県浦安市鉄鋼通り1丁目7番18号

### (3) 事業内容及び規模

- ・鋼製突合せ溶接式管継手の製造並びに販売
- ・主要製品生産量(年間)：1521.4t(本社 1329.0 t、奈良工場 192.0 t)
- ・従業員：128人(本社：111人、奈良工場：12人、関東営業所：5人)
- ・延建家面積：17,183㎡  
(本社:13,762㎡、奈良工場 2,507㎡、関東営業所 914㎡)

### (4) 環境管理責任者氏名及び担当者の連絡先

環境管理責任者	総務室長	船井 正浩
担当者	本社課長	滝口 俊平
	第三課副長	小泉 貴志
	技術課主任	河上 敦子

連絡先 電話 06-6659-1823  
FAX 06-6658-7770

### EA21 認証登録内容

登録番号：0000888

登録日：2006年 7月20日

事業活動：鋼製突合せ溶接式管継手の製造  
ならびに販売

対象事業所：本社・工場、奈良工場、  
鶴見橋工場、関東営業所



The image shows the EA21 certification registration details for Koba Industrial Co., Ltd. It includes the EA21 logo, the company name, registration number (0000888), and the registration date (July 20, 2006). The registration is valid until July 19, 2026. The company is certified for the manufacturing and sales of steel butt-welded pipe joints. The registration is issued by the Japan Sustainable Development Promotion Agency (SDPA).

IPSuS

ea  
エコアクション21

認証・登録証

認証・登録番号 0000888

認証・登録事業者 古林工業株式会社  
大阪府大阪市西成区津守3丁目3-17

事業活動 鋼製突合せ溶接式管継手の製造並びに販売

対象事業所 本社・工場、奈良工場、鶴見橋工場、関東営業所

認証・登録日 2006年7月20日

更新・登録日 2024年7月20日

有効期限 2026年7月19日

上記事業者は「エコアクション21ガイドライン2017年版(事業者)」の  
要求事項に適合していることを証します。

一般財団法人 持続性推進機構  
理事長 森本英香

# 3. 環境経営方針

## (1) 理念

事業活動のあらゆる分野において、資源を大切にし、自然及び地域環境との調和と向上を図る。

## (2) 基本方針

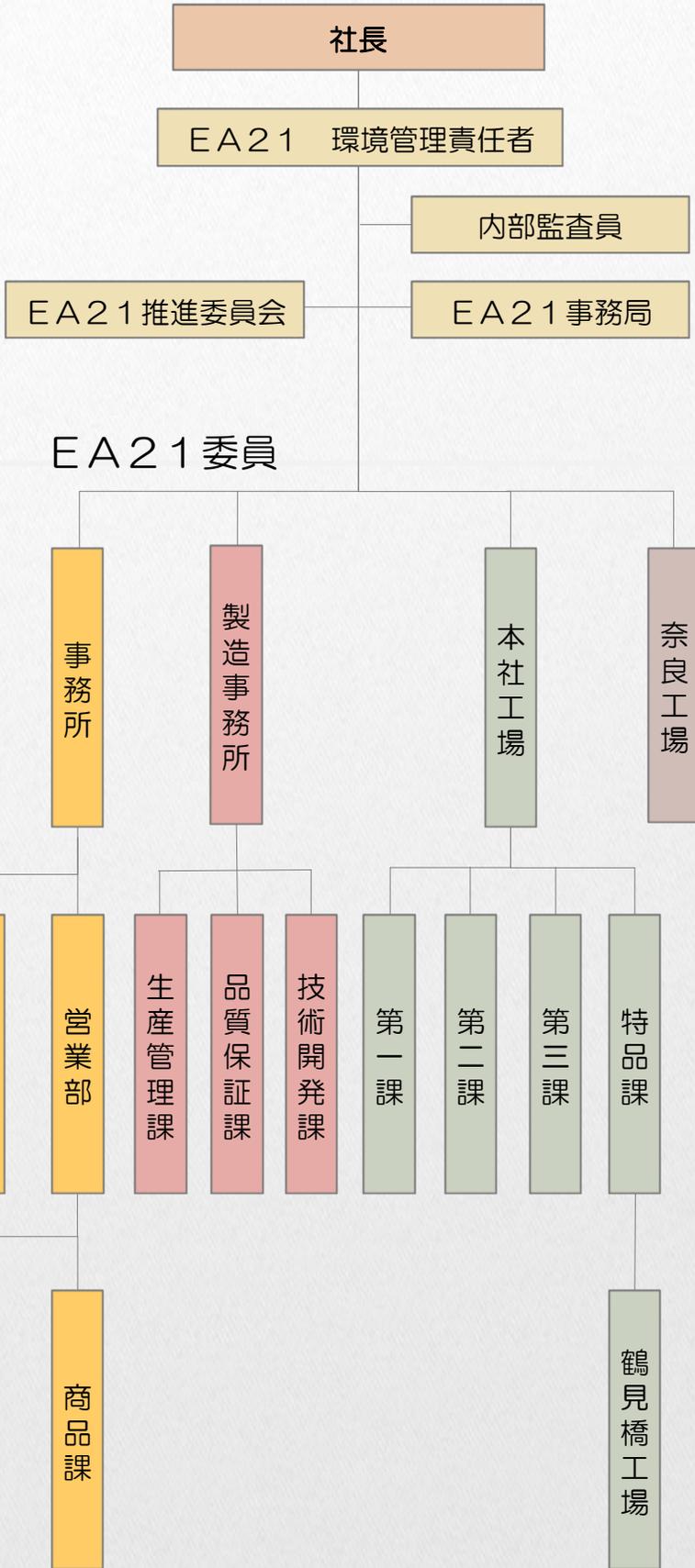
1. 環境マネジメントシステムを構築し、全員で継続的に環境改善活動を推進する。
2. 環境関連法規等の要求事項を遵守する。
3. 資源の有効利用を図るため不適合品及び廃棄物の削減、節水を推進する。
4. 地球温暖化を抑えるための省エネルギーを推進する。
5. 化学物質使用量の管理、環境配慮製品の購入・開発を通じて環境保全を推進する。
6. 周辺地域の美観づくりを推進する。
7. この方針は全従業員に周知すると共に一般にも公表する。

2005年12月 1日 制定  
2018年 4月19日 改定

古林工業株式会社 代表取締役社長 古林 達也



# 古林工業(株) E A 2 1 実施体制図



# 実施体制役割 責任・権限

## ① 社長

- a. EA21に関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
- b. EA21の実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技術者を提供する。
- c. 実施体制を構築し、全従業員に周知する。
- d. 環境管理責任者を任命する。
- e. 代表者による全体の評価と見直しを実施する。
- f. 環境方針の設定・見直し及び従業員へ周知を行なう。
- g. 経営における課題とチャンスを明確にする。

## ② 環境管理責任者

- a. 環境マネジメントマニュアルを構築し、実施し、管理する。
- b. 法規制等の要求事項登録簿を承認する。
- c. 環境経営目標設定書及び環境活動計画を承認する。
- d. 環境活動の取組結果を代表者へ報告する。

## ③ EA21事務局

- a. 構成：環境管理責任者、EA21事務局員。
- b. 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施。
- c. 「法的及びその他の要求事項登録」原案の作成。
- d. 関連法規最新のチェック。
- e. 全社環境活動計画実績集計。
- f. 各種データの作成及び保存。
- g. 環境経営レポート原案作成。
- h. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
- i. EA21推進委員会議事録の作成、保管。
- j. 特定された共通項目の手順書作成及び管理。

## ④ EA21推進委員会

- a. 構成：環境管理責任者、EA21事務局、各部署別EA21推進委員及び必要により環境管理責任者が指名した者。
- b. 環境計画推進状況のチェック及び監査。
- c. 環境経営目標設定書の作成。
- d. 環境活動計画の作成及び周知に関する事項。
- e. その他、環境活動に関する事項。

## ⑤ 内部監査員

- a. 環境に関する内部監査の実施。
- b. 代表者への報告。

## ⑥ EA21推進委員

- a. 自部門における環境経営方針の周知。
- b. 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。
- c. 自部門に関連する環境経営目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告。
- d. 自部門の問題点の発見、是正・予防処置。
- e. 各部門長への報告。

# 4. 環境経営目標と実績

## 4-1. 2024年度 環境経営目標

### 二酸化炭素排出量削減

総量

2023年度目標より13%減

1451.2 t-CO<sub>2</sub>

原単位

2023年度目標より6.75%減

0.56 t-CO<sub>2</sub>/t

### 電気使用量削減

総量

2023年度目標より9.54%減

1694.9 MWh

原単位

2023年度目標より8%減

705.2 kWh/t

### 化石燃料使用量削減

総量

2023年度目標を維持

9782.5 GJ

原単位

2023年度目標を維持

4002.6 MJ/t

### 水使用量削減

2023年度目標を維持

4550.8 m<sup>3</sup>

### 一般廃棄物排出量削減

2023年度目標より10%減

12.06 t

### 環境配慮製品の開発・増産

環境配慮製品(FG、FL、  
RG加工)の生産性UP

### グリーン購入の促進

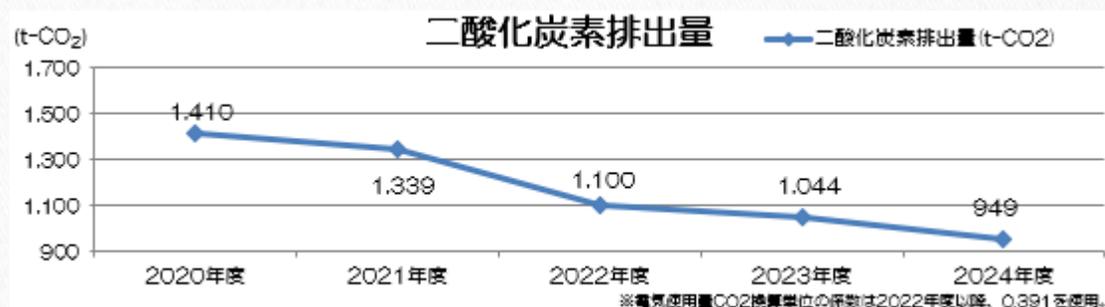
2023年度目標を維持  
(金額ベース)

30.8%

### 周辺地域の清掃・美化

月2回の清掃活動を継続

## 4-2. 環境負荷実績 5年間の推移(全社)



取組項目	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績
グリーン購入の推進	39.24% (件数ベース)	30.00% (金額ベース)	33.3% (金額ベース)	36% (金額ベース)	34.8% (金額ベース)
周辺地域の清掃・美化	100%実施	100%実施	毎月2回実施	毎月2回実施	毎月2回実施
環境配慮製品の開発	不良率0.79%	不良率0.59%	不良率0.86%	不良率0.99%	部署毎の課題取組

## 4-3. 2024年度の目標と実績比較

### 二酸化炭素排出量削減



電気使用量CO2換算単位の係数は調整後の係数を使用

総量

達成

原単位

未達成

### 電気使用量削減



※原単位の未達成は、生産量が少ないことが原因。

総量

達成

原単位

未達成

### 化石燃料使用量削減



※原単位の未達成は、生産量が少ないことが原因。

総量

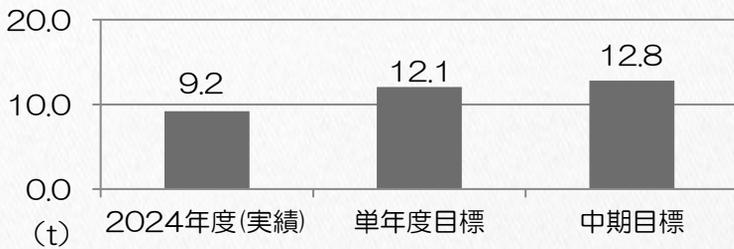
達成

原単位

未達成

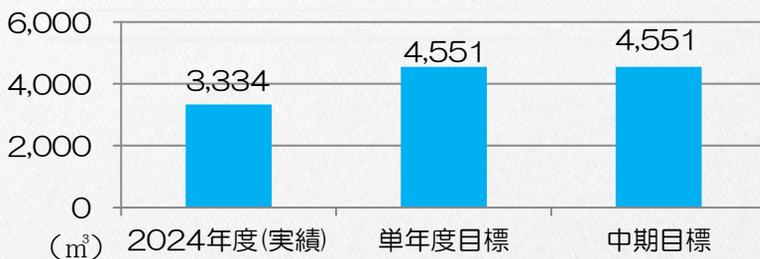


## 一般廃棄物排出量削減



達成

## 水使用量削減



達成

## グリーン購入の促進(金額ベース)

単年度目標 30.8% → 2024年度実績 34.8%

達成

## 環境配慮製品の開発(各部署毎の取り組み)

- 第一課・RGかじりキズの手直し削減…**達成**
- 第二課・FL面取り時の不適合減少…**達成**
- 第三課・FL/RGの塗装,表示,梱包で不適合減少…**達成**
- 特品課・RGスクラップ個数減少…**未達成**
- 製造務所・新FG専用設備を2台設置…**未達成**
- 本事務所・環境配慮製品の対前年比20%UP販売…**未達成**
- 奈良工場・RG研磨手直し個数の減少…**達成**



## 4-4. 2025年度 環境経営目標

2025年度は、全て2024年度実績を目標とします。  
対前年比とすることで増減をわかりやすくします。

### 二酸化炭素排出量削減

総量

2024年度実績を維持

949.4 t-CO<sub>2</sub>

原単位

2024年度実績を維持

0.62 t-CO<sub>2</sub>/t

### 電気使用量削減

総量

2024年度実績を維持

1506.2 MWh

原単位

2024年度実績を維持

993.6 kWh/t

### 化石燃料使用量削減

総量

2024年度実績を維持

6834.8 GJ

原単位

2024年度実績を維持

4508.6 MJ/t

### 水使用量削減

総量

2024年度実績を維持

3333.5 m<sup>3</sup>

### 環境配慮製品の増産

環境配慮製品 (FG, FL, RG加工)  
の生産性UP

### 一般廃棄物排出量削減

総量

2024年度実績を維持

9.2 t

### グリーン購入の促進

2024年度実績を維持

34.8% (金額ベース)

### 周辺地域の清掃・美化

- ・ 月2回の清掃活動を継続
- ・ 北倉庫の整備による緑地の拡大

## 4-5. 中長期 環境経営目標（2027年度）

### 二酸化炭素排出量削減

総量

2023年度目標より3.56%減

1,417.8 t-CO<sub>2</sub>

原単位

2023年度目標値の10%減

0.541 t-CO<sub>2</sub>/t

### 電気使用量削減

総量

2023年度目標値を維持

1,873.7 MWh

原単位

2023年度目標値の5%減

728.27 kWh/t

### 化石燃料使用量削減

総量

2023年度目標値を維持

9,782.5 GJ

原単位

2023年度目標値の5%減

3,840.9 MJ/t

### 水使用量削減

総量

2023年度目標値を維持

4,550.8 m<sup>3</sup>

### 環境配慮製品の増産

環境配慮製品(FG,FL,RG加工)  
の生産性UP

### 一般廃棄物排出量削減

総量

2023年度目標値の5%減

12.8 t

### グリーン購入の促進

31.5%(金額ベース)

### 周辺地域の清掃・美化

月2回の清掃活動を継続

2024年度実績において達成しているものもありますが、未達成項目もあるため、継続して同じ中長期目標にしています。

# 5. 主な環境経営活動計画の内容

## 1. 電気使用量の削減



- ・コンプレッサー、エアールールの点検・修理
- ・不要照明の消灯
- ・非稼働時（段取・調整を含む）のポンプ・モーターの停止
- ・更新時省エネ設備の検討
- ・太陽光発電設備の設置（奈良工場）

## 2. 化石燃料使用量の削減



- ・熱処理炉稼働の効率化、条件見直し
- ・マンドレルキズの防止
- ・設備トラブルの改善

## 3. 廃棄物の削減



- ・ペーパーレスの推進（電子化）
- ・廃棄物の分別
- ・配管バルブ等の油漏れの点検・修理

## 4. 水使用量の削減



- ・水漏れ箇所の点検・修理

## 5. 周辺の美化



- ・1ヶ月に2回、工場周辺の清掃実施・植栽の実施
- ・半年に1回、南津守桜公園周辺の清掃実施

## 6. 化学物質使用量の管理



- ・製品の塗料を適正に管理していることを毎月確認
- ・化学物質管理者の設置

## 7. グリーン購入の推進



- ・一定範囲（文房具関連）にて手順書に基づいてグリーン購入を行い、金額ベースでの現状把握

## 8. 環境配慮製品の増産



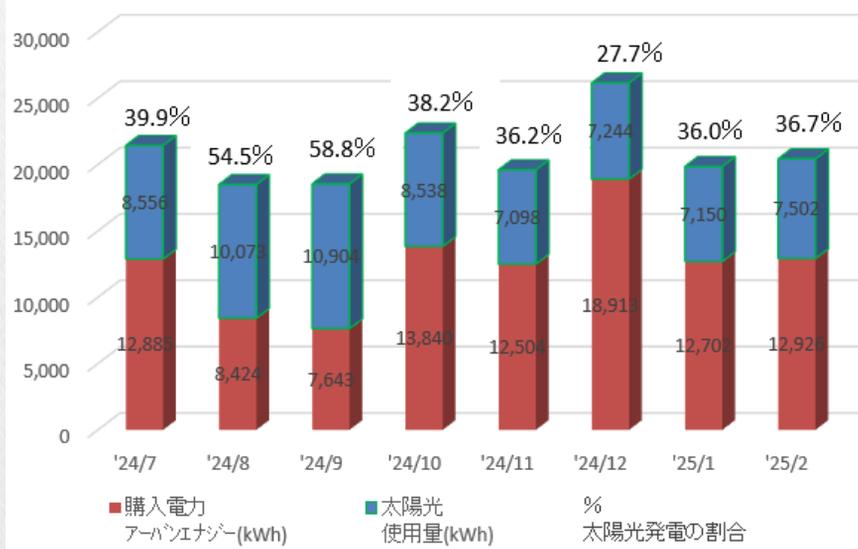
- ・環境配慮製品（FG、FL、RG）の増産に取り組む

# 奈良工場 太陽光発電システム

2024年7月、奈良工場に太陽光発電設備を設置しました。



奈良工場太陽光発電の割合



設置8カ月、月平均41%の電力を太陽光で補えました。



# ベトナム人技能実習生の受入

新たに7期生6名が加わり、15名になりました！



4 質の高い教育を  
みんなに

8 働きがいも  
経済成長も

10 人や国の不平等  
をなくそう

## 廃棄物の分別回収

2025年2月から、大きなプラスチックの他にも、お菓子の包み紙やビニール紐や全てのプラスチックゴミ分別に取り組んでいます。



ベトナム人実習生にも  
わかりやすいよう  
ベトナム語も併記

11 住み続けられる  
まちづくりを

12 つくる責任  
つかう責任

13 気候変動に  
具体的な対策を

## EA21 内部監査員養成研修

外部講師をお招きし、EA21の内部監査員の研修会を開催しました。

18名が参加し、環境問題への対応と、内部監査の重要性を学びました。



## 秋の行楽 ～滋賀～



滋賀県、琵琶湖博物館、アグリパーク竜王で柿狩りと近江牛の炭焼きバーベキューを楽しみました！



## 福祉活動（こども食堂支援）



こども食堂支援自動販売機を5年前から導入。58万円が18団体に寄付されました。  
(R6、R5の実績報告)



## 献血活動

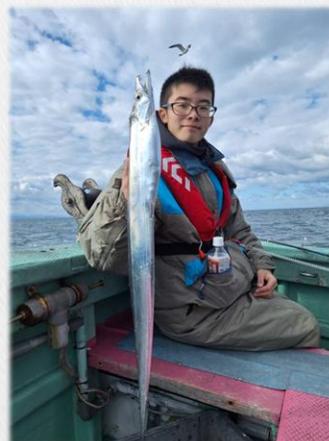
毎年本社工場にて献血を実施  
今回で25回目となりました。



# 厚生クラブ活動

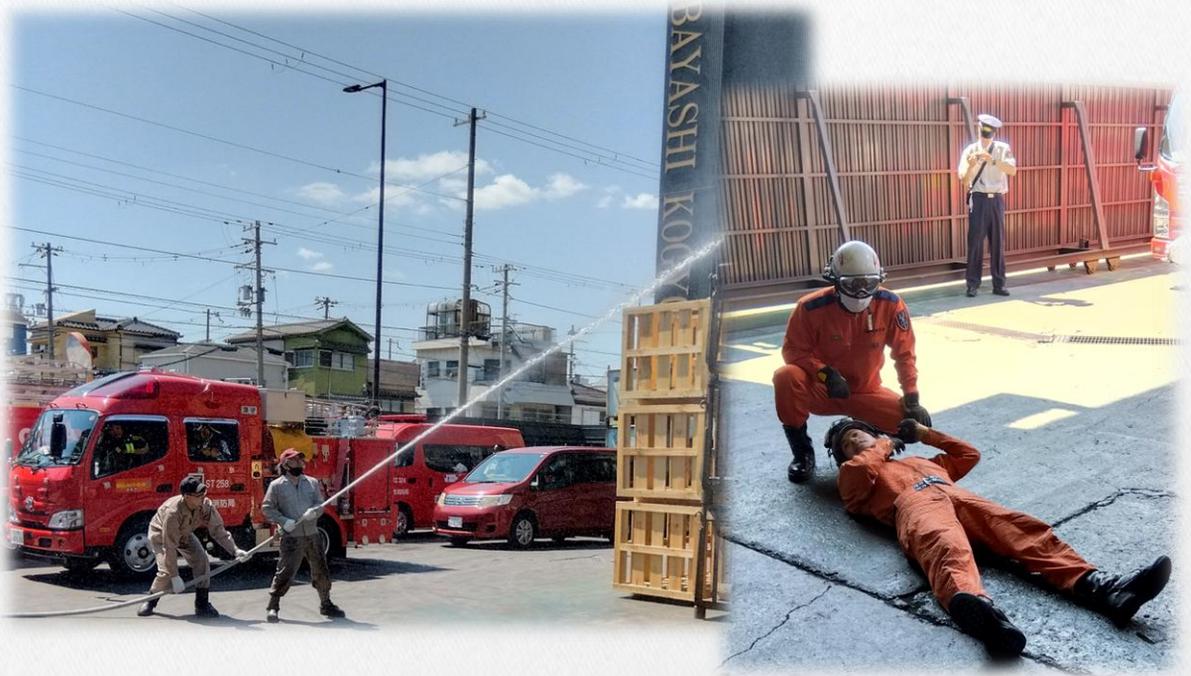


他にも13種類の様々なクラブがあり、楽しく交流をはかっています。



# 消防訓練・消防技術大会

6月、西成消防署と合同消防訓練を行いました。



10月に消防技術大会、可搬式ポンプの部に参加しました。



# 6. 環境経営活動の取組結果と評価

## 次年度の取組計画

・2024年6月10日と17日の2日間、本社、奈良工場と関東営業所について、EA21中間審査を受審しました。

・A判定内容の改善としましては

(1)ベトナム人と中途採用が増えていますので、作業手順の教育訓練に合わせて、環境への取組の必要性の教育や、行動に繋がる訓練を深める事を推奨します。→日本語とベトナム語併記のポスターを増やし、言葉では無く絵の表記も増やしました。

(2)スポットエアコンの簡易点検表は使用前と使用中に点検記録を残すフォーマットになっていますが、未使用期間の点検記録を残すフォーマットに変更する事が望まれます。→スポットエアコン点検表を見直し、未使用期間も点検するように周知しました。

・2024年度は、北倉庫建替えもあり在庫量を減らす為の生産調整を行いました。その為、生産重量は当初予定の74.6%となり電気使用量、化石燃料使用量の原単位は未達となりましたが、総量では達成しております。

・二酸化炭素排出量削減については、7月9日に奈良工場に「モジュール:154.0kW/パワコン:118.8kW」の太陽光発電を設置し、8月~11月の奈良工場電気使用量は昨年比で34,110kWh(44.6%)減少しました。更に、この間の売電収入は229,324円です。冬場になると日射量が少なくなり、発電量も減ってくるので、継続してデータ収集します。

・一般廃棄物と水使用量は、達成していますが、生産量が予定より少なかった事が影響していると思われます。

・グリーン購入については、エコの品目が増えた為、目標を達成しております。

・環境配慮製品の開発・増産につきましてはRGIは冷間矯正を行うことより安定して溝加工が出来るようになり、生産性がUPしました。

・FG加工機に関しては問題点が発生し、2台目の製作ができませんでした。優先して問題点の改善に取り組んでいきます。

### その他（BCP対策）

・BCP対策として特品課工場入口にシャッターを設置しました。

・雨漏り修理（BCP対策）としてC棟屋根をカバー工法で囲いしました。

・本社工場防暑対策テストとして、C棟にファン及び排気用換気扇を取付けました。

・6月に西成消防署と合同での消火訓練を実施しました。

実際に即した訓練、FKKにて通報、初期消火、西成消防署到着後、消火作業、人命救助、一連の流れを訓練しました。

# 7. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

1) 法的義務を受ける主な環境関連法規等は以下の通りです。

法規制等の名称	該当する要求事項	関連条例による規制	該当する設備・項目
大気汚染防止法	特定施設の届出	—	金属製品の熱処理 本社2台
下水道法	ばい煙排出、基準等の遵守 ・特定施設の使用開始の時期 ・水質測定、記録 ・排水基準等の遵守 ・事故時の応急措置、届出	大阪市条例	鶴見橋工場 酸洗設備
水質汚濁防止法(改正法)	・特定施設等の届出 (水質汚濁防止法第5条第3項に基づくもの)	—	鶴見橋工場
浄化槽法	・法定検査 ・保守点検	奈良県条例	奈良工場浄化槽(分離ばっ気型)
騒音規制法	・特定施設の届出	(大阪市条例)	空気圧縮機 液圧プレス(矯正プレスを除く) 丸のこ盤
振動規制法	・特定施設の届出	(大阪市条例)	[大阪市の条例により] 液圧プレス プラスト
廃棄物処理法	一般廃棄物 ・収集業者の許可証確認(写し保管) 産業廃棄物 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告 ・保管基準 60cm×60cm以上表示 ・委託基準 収集運搬・処理業者との契約	—	一般廃棄物 廃油 廃プラスチック 汚泥 水銀使用製品 木くず 家電OA機器等
自動車リサイクル法	使用済となった自動車を引取り業者に引渡さなければならない リサイクル費用を資金管理人に対し預託しなければならない	—	本社5台、関東営業所2台
家電リサイクル法	特定家庭用機器をなるべく長期間使用し、廃棄物となることを抑制する 廃棄物として排出する場合は、運搬する者等に適切に引渡し、料金の支払いに応じる	—	テレビ 冷蔵庫 洗濯機 本社 6 11 — 奈良 1 1 1 関東 1 1 —
PCB廃棄物特別措置法	マニフェスト保存(5年) (A票、B2票、D票、E票を平成25年6月2日まで) 第三工場受電設備の入れ替えにより、低濃度PCB廃棄物が発生。 H27.8.11.12に法令に基づき処理。	—	高圧コンデンサー4台(処理済) 変圧器1台(処理済)
毒物及び劇物取締法	ふっ化水素、硝酸、硫酸 保管、盗難防止の措置	—	鶴見橋工場
消防法	危険物貯蔵施設の届出	—	少量危険物貯蔵所 危険物屋内貯蔵所 消防用設備等 関連設備数
フロン排出抑制法	特定製品が廃棄される際のフロン類の適性かつ確実な回収・破壊される措置、その他特定製品に使用されているフロン類の排出抑制の為の措置。 フロン類回収業者(登録業者)に回収依頼書又は委託確認書を交付し、写しを保存(3年) 第1種特定製品(業務用エアコン等)について、管理者による適切な場所への設置・維持、機器の点検、漏洩防止・未修理での充填禁止、点検等の履歴の保存	—	スプレッター 冷水機 本社 40 6 奈良 14 1 関東 2 —
PRTR(化管法) 特定の化学物質の環境への排出量などの把握など及び管理の改善の促進に関する法律 電気事業法	第1種指定化学物質 トルエン、キシレン排出量等の把握及び報告。	大阪府条例	塗装設備
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	公害防止管理者の選任及び届出 (液圧プレスの加圧能力2941KN以上の設備が 本社工場にあるため、振動関係の公害防止 管理者が必要) 又、本社工場は常時使用する従業員が21人以上である為、公害防止統括者の選任が必要。奈良工場は対象施設がない為特定工場では有りません。	—	液圧プレス以上の加圧能力が 2941KN以上(矯正プレスを除く) 公害防止統括者：本社工場長
高圧ガス保安法	特定高圧ガス=液化石油ガス(LPG) LPG3000kg以上	—	奈良工場が最大貯蔵量2000kg のため届出不要
省エネ法	事業者を「特定事業者」として国が指定。 (使用量の合計が原油換算で1500kℓ以上)	—	800kℓ以下の為該当しない
自動車NOx・PM法	大阪府・千葉県 共に解除の為該当しない	—	

2) 遵守状況：上記環境関連法規等の一覧表及びそれらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規等への違反はありません。また、法律違反、訴訟及び苦情もありませんでした。尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去10年間以上ありません。

## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果・指示

代表者が前述の通りエコアクション21全体の取組状況を評価し全般的な見直しを行った結果、代表者より下記内容の改善指示がありました。

生産性の向上を図る為、停止率の減少を推進すること。

化石燃料の削減を図るため、加熱炉、熱処理炉の効率稼働(安定稼働)を図ること。

環境配慮型製品の生産性を上げること。

SDGsを意識したエコ活動を全従業員で更に進めること。

工場周辺、工場内の美化を図ること。

有害性物質の削減に取り組むこと。

環境経営方針	変更なし
環境経営目標・計画	変更なし
実施体制	変更なし

2024年12月25日 古林 達也



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



我々は、この地球を将来にわたって守っていく為に  
バランスの取れた循環型社会を構築していく必要があります。

私達 古林工業は

「事業活動のあらゆる分野において、資源を大切にし  
自然及び地域環境との調和と向上を図る」

の理念のもと、さらなる環境改善活動を図ってまいります。

古林工業株式会社

URL <http://fkkjp.com>